

18-22

2018年3月1日

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2017」の最終審査通過企業を決定しました！

5社が通過、2018年3月から順次実証実験を実施

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）では、東京メトロが保有する経営資源と、スタートアップ企業のアイデアを組み合わせ、新たな価値を共創することを目的としたオープンイノベーションプログラム「Tokyo Metro ACCELERATOR（東京メトロアクセラレーター）2017」の最終審査通過企業を決定しました。

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2017」は、2017年10月にスタートアップ企業の募集を行い、応募総数112件の中から3度にわたる審査を経て、最終的に5社が最終審査を通過しました。2018年3月より順次、各企業と実証実験を実施し、今後の事業展開の可能性を検討していきます。

東京メトロは、幅広い外部連携を通じ、引き続き新たな事業領域に挑戦してまいります。

最終審査通過企業及び実証実験の概要は、別紙のとおりです。

最終審査通過企業	評価理由
株式会社ストーリー アンドカンパニー 	「人」の魅力にスポットを当てたシェアリングサービスとしての新規性と当社沿線への展開によるシナジーの発揮
日本美食株式会社 	飲食店予約から決済までのサービス展開可能性と訪日外国人の東京観光における満足度向上への寄与
ストリート アカデミー株式会社 	当社関連施設での気軽なまなびによって、朝の通勤時間を楽しくかつ有意義にするというお客様への新たな価値の提供
ためま株式会社 	地域情報のプラットフォーム化というサービスの新規性と「地域のつながり創出」の当社沿線への展開可能性
株式会社ビビッド ガーデン 	小中規模農家と東京の消費者両方の社会課題解決アプローチや当社リソースの活用によるシナジーの発揮

3 ストリートアカデミー株式会社

(1) 会社概要

代表取締役：藤本崇

会社 HP：<https://www.street-academy.com/>

主な事業内容：教えたい人と学びたい人をリアルにつなぐまなびのマーケット「ストアカ」の企画・運営。日本最大級スキルシェアのコミュニティ。

(2) 実証実験内容

教えたい人と学びたい人をリアルにつなぐまなびのマーケット「ストアカ」を通じて、東京メトロ関連施設で気軽に学べる場をご提供し、新しいことに一歩踏み出す皆さまを応援します。

2018年4月から、東京メトロ永田町駅構内の駅チカ商業施設「Echika fit 永田町」のカフェテリアスペースにて、ビジネスパーソンを対象とした「駅で始める 30 分朝活シリーズ（仮）」を開催し、順次複数箇所での開催も予定しています。詳細は「ストアカ」サイト内でお知らせいたします。



朝活風景

4 ためま株式会社

(1) 会社概要

代表取締役：清水義弘

会社 HP：<http://www.tamemap.net/>

主な事業内容：地域活動のイベント情報を発信・共有できるアプリ「ためまっぷ」の開発・運営

(2) 実証実験内容

これまでチラシなどでしか知ることができなかった地域の情報を「ためまっぷ」アプリ（iOS、AndroidOS 対応）上で共有し、東京メトロ沿線の地域社会のつながりを創出します。

2018年4月から、東京メトロ沿線の地域イベント情報を収集し、「ためまっぷ」アプリに順次掲示する予定です。対象地域などの詳細は、ためま株式会社の会社 HP 上でお知らせしてまいります。



ためまっぷ イメージ

5 株式会社ビビッドガーデン

(1) 会社概要

代表取締役：秋元里奈

会社 HP：<https://vivid-garden.co.jp/>

主な事業内容：農家から直接オーガニック農作物を購入できるサービス「食べチョク」の企画・運営 (<https://www.tabechoku.com>)

(2) 実証実験内容

「食べチョク」で取り扱うオーガニック野菜と、東京メトロが東西線高架下で育てた「とうきょうサラダ」の野菜を組み合わせ、フレッシュサラダとコールドプレスジュースの自動販売機を東京メトロ駅構内に設置する予定です。

詳細は、「食べチョク」サービス内にて、お知らせいたします。



オーガニック野菜 イメージ



とうきょうサラダ イメージ